



応募名

生成AIを実装した盆栽管理アプリによる輸出盆栽の アフターケア

ビジネス プランの 概要

- 海外の盆栽愛好家は、盆栽の「生育管理」と「デザイン」に難しさを感じている。課題解決に向け、作業の提案・相談が可能な個別サポート機能を持つ生成AIアプリを開発する。
- 盆栽専門誌『近代盆栽』のテキスト・画像を学習データとして使用する。さらに大宮盆栽村と連携することで、これまで暗黙知となっていた盆栽に関する技術を形式知化する。
- 「日本産の盆栽を買ってよかった」と海外の愛好家が安心できる環境を整えることで、盆栽文化の継承と発展を目指す。

解決策：生成AI技術を実装した盆栽管理アプリ「JinShari」の開発

個別最適なアフターケア：「日本産の盆栽を買ってよかった」と思ってもらえる仕組みの構築



盆栽管理アプリ「JinShari」の特徴



技術向上に役立つ個別サポート機能を実装

「ジン・シャリ」とは？



- 幹や枝の木質部が朽ち果て、白骨化したもの
- 生と死、時間の芸術、造形美等、盆栽の本質を含んだ概念
- 盆栽愛好家は必ず知っている言葉で、世界各国で通じる

写真：近代出版（2015）『真柏のすべて』

6

コアバリュー

革新性

暗黙知の形式知化：盆栽の生育管理・デザインの独自データベースによるAI学習

JinShari独自のデータベース（デザイン支援機能の例）

画像とテキストのデータを紐づけて格納

画像データ		テキストデータ	
No	項目	記述する内容	
1	樹種	ゴヨウマツ、クロマツ、シンパク等、盆栽の樹木の種類	
2	樹形	樹様木、直幹、斜幹、懸崖等、盆栽の基本となる全体像	
3	根張り	力強く大地を覆む、幹の根元部分の根の状態	
4	立ち上がり	幹の根元から幹枝へ伸び、樹全体の流れを方向付ける部分	
5	枝順	左右に交互に配置され、前後にも進行を持たせる理想的な枝の配置	
6	コケ順	幹の太さが根元から上部にかけて自然に細くなっていく状態	
7	幹枝様	S字の曲がりや屈曲等、幹が持つ独自のデザイン	
8	輪郭	盆栽全体のシルエットで、底辺の不等辺三角形が基本とされる形	
9	幹肌・ジン・シャリ	古木が持つ風情や、白骨化した部分のテクスチャ	
10	自然表現	底しい自然の中で生き抜く姿等、作品が表現する風景や情景	
11	鉢合わせ	樹と鉢の調和が取れているか、鉢が持つ形状と色の意味	

(株)近代出版と連携

さいたま市及び大宮盆栽村の関係者等と連携



備考：文化庁「AIと著作権について」のガイダンスを順守して開発する

9

ビジネスモデル

持続可能性

AI×グローバルプラットフォーム：愛好家と盆栽園をつなぎ、顧客との継続的な関係を構築



10

実現したい世界

地域への波及効果

盆栽産業への貢献

大宮盆栽村とJinShariのシナジー：日本文化を世界中で継承・発展させ続ける

大宮盆栽村

- グローバルでの認知度アップ
- サービス提供による収益向上
- 輸出数量の増加

JinShari

- 暗黙知へのアクセス
- データベースの強化
- 信頼性の獲得



VISION

日本人が培ってきた「自然に対する想像力」を世界中に広める

MISSION

盆栽のデータベースを構築し、最適なアフターケアを提供する

VALUE

AI技術により盆栽の暗黙知を形式知化する

13